

● 7月5日（木） 晴のち雨 大雪山・黒岳（1984m）

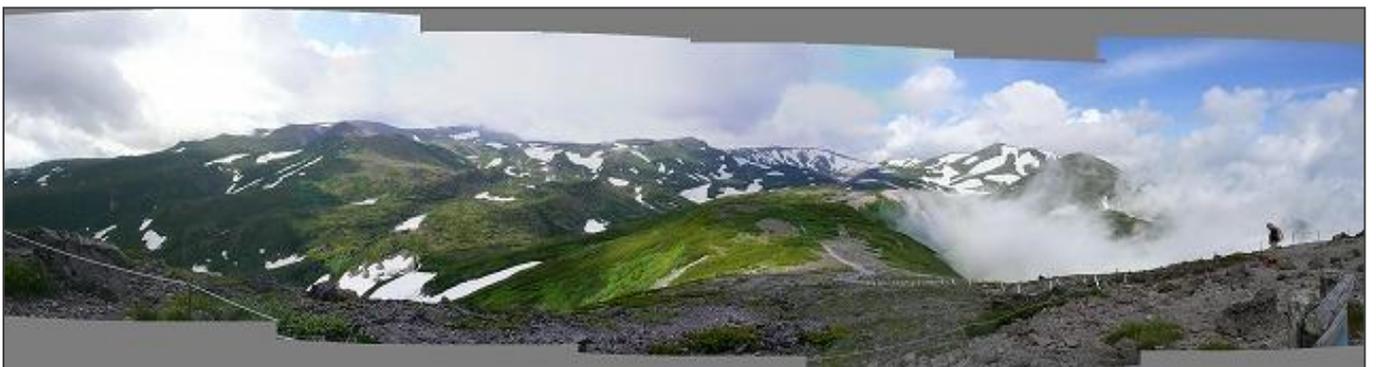
・3時過ぎに目が覚め4時前に起床。まだ誰も起きていないようだ。昨日夕食の時のいろいろお話した君津のおじさんは、今日は緑岳へ行くとか云っていたがまだぐっすり寝ている。大丈夫かな？

今日はワングルOBの連中が黒岳から旭岳まで縦走するとの計画で北海道へ来ているので、彼らに途中まで同行する予定だ。天気予報ではあまり天気が良くない予報だったが青空が出ている、ラッキー。

誰もいない薄暗い食堂で簡単に朝食を済ませ、5時過ぎにYHを出てすぐ下のロープウエー駅へ向かった。

始発が6時なのでまだ登山客はまばらだったが、ツアーの団体バスがついて大勢集まってきた。ワングルの連中はまだ来ていない。S嬢に「早く来い！」と電話して急がせ、O夫妻、M夫妻、S嬢、O君とK嬢の6人パーティーと無事合流し始発のロープウエーに乗車した。心配した天気はどういうわけか青空の晴天で暑い。ロープウエーでまず5合目へ。ロープウエーを下りると草むらにクロユリが咲いていた。5合目から7合目までのスキリフトの下はお花がいっぱい。7合目の黒岳登山口には今年もエゾルリソウが咲いていた。

・さあ黒岳の登山開始だ！ ワングルの連中と北海道で一緒に山に登るなんて思ってもみなかった。山頂まで登山道はシナノキンバイ、ミヤマキンポウゲ、エゾハクサンイチゲ、エゾタカネスミレ、チシマフーロ など花がいっぱい咲いていて夏の日差しの暑さを忘れさせてくれる。去年は難儀した残雪の雪渓は今年は殆ど無く、すんなりと山頂に着いた。山頂は良く晴れて霧もなく、視界100%の展望が開けていて、全員大満足だ。



黒岳山頂からのパノラマ

・ここで彼らは朝食時間、展望を楽しみながらゆっくりと食事をとった。

ここから彼らは、朝日岳へ縦走する組と、来た道を下山して車を旭岳方面へ回送する組に分かれて行動することになっていた。私は縦走組3人に途中まで同行することにして、回送組3人と山頂で分かれた。



縦走組3人と石室へ下る



・時折日の差す絶好の天気の中、石室をとお鉢展望台まで花の高原を歩いた。コマクサ、メアキンバイ、エソノツガザクラ、ベニバナミネズオウ、キバナシャクナゲ、エソコザクラ、エソイチゲ、エソツツジ など とにかくいつ来ても花がいっぱい咲いていて素晴らしい遊歩道だ。





お鉢平展望台からのパノラマ

・お鉢平展望台で3人と分かれて私は引き返したが、そのころから天候が悪化してきて、彼らが向かう旭岳の方から黒い雲がどんどん迫ってきて、途中パラパラと雨も降り出した。黒岳山頂での昼食を早々に切り上げて下山を急いだ。案の定、雷まじりの本格的な雨になった。なんとかリフトに飛び乗り一目散に下山したが、私がリフトを下りたら、雷のためリフトが停止された。幸いロープウエーは動いていたので飛び乗って無事層雲峡駅に下山出来た。黒岳では天気が良かったので山を十分楽しんだ後、下りでは一転雷雨になり、私が下山した直後にリフトとロープウエーが停止した。なんとこれは昨年と全く同じパターンではないか！ 運がいいのか悪いのか、2年続けて同じ経験をする事になった。



お鉢平展望台で3人を見送った

・車を旭岳方面まで回送した組のS嬢から電話がきて「今雷と大雨の中 姿見平に避難している」と連絡があった。旭岳まで縦走していった3人組はどうなっているのだろうか？ 心配だ。早雲峡もいっこうに雨の止む気配はない。雨の中 毎年泊まる懐かしい当麻へ向かい3時過ぎに当麻の駐車場に着いた。雨はかなり小降りになってきた。早速温泉へ飛び込みリラックス。



毎年お世話になる当麻の駐車場

・駐車場には香川ナンバーのハイエースが止まっていて変なおやじが一人で乗っていた。良い場所が空くたびに車を移動させ、最後はとうとうトイレ前の屋根の下の特等席におさまった。私は一番端の電話BOXの前に駐車。隣に札幌ナンバーのキャンピングカーが2台やってきた。恵庭の方で恵庭ライオンズクラブのメンバー、今日はここに泊まるという。「神奈川からお邪魔しています」と丁寧に挨拶した。

・夕食中にまた雨が降りだしたので早々に店じまいし寝る体制、とうとう土砂降りになってきて、雨が屋根を打つ音がうるさい。その雨音を聞きながら熟睡した。

● 7月6日(金) 晴 当麻 ~ 箸別・暑寒別岳登山口

・夜中1時ごろにトイレへ云ってからとうとう4時すぎに起きた。昨夜の大雨も上がり、曇ってはいるが空は明るい。天気は回復しそうだ。まだまわりの車は寝ている。

朝食後、昨日は雨のため出来なかった写真の整理をしたり、日記をつけたりしているうちすっかり夜が明け朝日がさして来た。今日これからは、明日登る予定の暑寒別岳の箸別登山口まで移動するだけなので特に急ぐ必要はない。のんびり朝食を摂り洗濯をしたり諸々の整理をしたりしているうちに、隣の恵庭のキャンピングカー2台は出て行ったし、香川の大きなハイエースのおじさんもどこかへ出て行った。

・空は徐々に晴れてきて、真夏の太陽が顔を出して来た。干した洗濯物もどんどん乾いてゆく。
毎年当麻のここでお会いする福山のおじさん（松永さん）にお会いすることは無かった。そういえば去年会ったときに「来年はもう来られない」と云っていたな。年々寂しくなるね。私も今年で最後かな。

・9時過ぎに当麻を後にして暑寒別岳めざして出発した。深川、秩父別と寄って北竜へ。ここは毎年走る通いなれた道だ。道の駅「北竜」ではメルヘンチックは北竜ホテルのレストラン「風車」で昼食。スープカレー（950円）を食べたが、これまた絶品！ 地産の野菜たっぷりのなかなか上品なカレーで すっかり満足した。北竜で給油をしてから太陽がキラキラ照りつける国道233号（留萌国道）を留萌へ向けるのんびり走った。留萌では宿泊候補地の一つ「神居岩公園・温泉」に寄って偵察したが、なかなか良さそう所だった。留萌から海岸線を南下し増毛へ。増毛ではここも宿泊候補地の一つ「増毛リバーサイドパーク」を視察したが、管理がしっかりした公園で、どうも宿泊は出来そうもなかった。明日下山後に入浴する予定の三国清三シェフで有名な「オーベルジュ増毛」を確認してから、暑寒別岳箸別登山口へ入ろうと思ったが、あちこち探しても登山口へ入る道が全然わからない。しかたがないので町役場の観光課へ行って道を教えてもらった。国道からの入口は道標も何もない細い道で、これじゃ知らないで全くわからない。

・舗装はしてあるが細い道を10km近く走って無事箸別登山口に到着した。舗装された広い駐車場で避難小屋も完備されている。こんなに山奥に来たのになんと携帯の電波はバリ3だ！一安心。時刻は4時過ぎだが、日差しが暑い。今登っている登山者のものだろうか車が2台止まっている。明日は土曜日だからそろそろ登ってくる車もあるだろうと、木陰に車を止めてビールを飲み始めた。そのうち八王子ナンバーの車でおじさんが一人登ってきたが「今日は増毛へ戻って明朝出直してくる」といって下りて行ってしまった。止まっていた2台も下りてきた登山者が乗って行ってしまい、広い駐車場に私の車1台取り残された。その後明日は土曜日だと云うのに予想が外れて上ってくる車は一台も無く、結局今夜ここで夜を過ごすのは私1台だけということになった。「登山口で私1台だけ」はかなり経験しているがやはり寂しい。ビール2缶で夕食後、まだ7時前で明るいというのに寝床にもぐりこんだ。夜トイレに出たら綺麗な月が出ていた。明日は晴天だぞ！



恵庭の車も、香川の車もみんな出て行った



絶品・北竜のスープカレー



箸別登山口駐車場・立派な避難小屋もある



広い駐車場に私の車一台だけ寂しく